

講義名	教職概論【教職に関する科目】		
科目区分	教職に関する科目		
担当教員	水田 聖一		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2

<b>主題と概要</b>			
<p>教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義及び教員の役割</li> <li>・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）</li> <li>・進路選択に資する各種の機会の提供等</li> </ul> <p>学校教育の成否は、教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが極めて大きい。また、学校ではいじめや不登校など深刻な問題が生じており、教科指導の面でも、生徒指導や学級経営の面でも、教員には新たな資質能力が求められている。今日、教職に就こうとするものに何が求められているのかを学び、教職への意欲を高め、自らの適性を知る。</p>			

<b>到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義及び教員の役割について、教育基本法及び関係法律を通して理解する。</li> <li>・教員の職務内容を理解し、教師に求められる教育実践力についてのイメージを掴む</li> <li>・教職に対する適性を知る</li> </ul>			

<b>提出課題</b>			
ノート提出、小レポート(感想・コメント)提出等			

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
毎回書いてもらう小レポートは、次の週に返却する			

<b>評価の基準</b>			
定期試験(60%)、レポート・発表課題(40%)			

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
<p>毎回休まずに出席することが大切。欠席の多いものは成績も下がります。この授業では4回以上欠席者は、試験を受けることができません。A以上の成績を多く取らないと、教育実習にいきません。テキストを購入しないものは、授業に出ることを禁ず。</p>			

<b>教科書</b>				
・新しい教職概論	南本長穂	ミネルヴァ書房	2500	9784623070329

<b>プリント資料及び参考文献</b>				
<p>文部科学省ホームページ  高見茂・田中耕治・矢野智司・稲垣恭子監修『教職教育論』（協同出版）  中村恵・水田聖一・生田貞子編著『保育内容総論』（福村出版）</p>				

<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我が国における教員養成と採用</li> <li>2. 授業を作る教師-教師の仕事</li> <li>3. 学級を作る教師-「いじめ」問題への対応をヒントとして</li> <li>4. 管理・運営を担う教師-学校経営・校務分掌</li> <li>5. 教員の資質能力-答申・研修</li> <li>6. 教員の地位と服務</li> <li>7. 諸外国の教員養成</li> <li>8. 教育課程の編成と学習指導要領-文部科学省、教育委員会と学校</li> <li>9. 道徳を指導するために-教師に求められるもの</li> <li>10. 特別活動を指導するために-教師に求められるもの</li> <li>11. 社会科を指導するために-教師に求められるもの</li> <li>12. 児童・生徒の発達と学習</li> <li>13. 高校生の学習と生活</li> <li>14. 児童・生徒の学力</li> <li>15. 子どもの遊びとスポーツ</li> </ol>				

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
ア	PBL（課題解決型学習）			
イ	反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）			
ウ	ディスカッション、ディベート			
エ	グループワーク			
オ	プレゼンテーション			
カ	実習、フィールドワーク			

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
<p>授業は、テキストに従って進めるので、予習・復習をしっかり行うこと。  教科書に基づき、発表を行ってもらうので、よく調べてくること。</p>				

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				

<b>実務経験の有無及び活用</b>				

<b>備考</b>				
教員の免許状取得のための必修科目				